

第4回ウィズあかし運営委員会
「市民みんなでつくるウィズあかしを考える会議」議事録

令和3年10月28日(木) 18:00~20:30
複合型交流拠点ウィズあかし 7階学習室701

参加者: 運営委員 11 名 明石コミュニティ創造協会スタッフ 14 名 市職員 1 名

1. あいさつ(事務局)

2. 振り返り

事務局より前回の運営委員会の振り返り、1~4年でウィズあかしがやってきたことについて説明を行った。(別添資料参照)

3.4. 意見交換および全体共有

各チームで意見交換を行い、下記の意見が出されました。

【テーマ: ウィズあかしの一番いいところ&期待するところ】

【テーマ: どうやったら評価できるか】

(チームA)

- 表現したり考えたりしやすい雰囲気、小さなストーリーをたくさん共有できるといい
- 事例のつみかさね
- 3センターのジャンルを超えて横断的に支援していけるところ、もっとたくさん明石の光る人を発掘したい! 生み出したい!
- ウィズあかし目線だけでなく
- 活動している人フューチャー
- 時間がかかることにこそ価値がある
- その後のつながり
- ウィズゆう
- 前回からの変化は?
- コラボした? 誰と知り合った?
- メンバーズは交流の場
- 「つながり」例をヒアリング共有
- アウトリーチ中コミ
- 明石まで来にくい人
- 出張(セミナー・相談)
- 外に出る
- 解放性、市民の目指す場所(コモンズ)

- 「いいところ」 イベントや講座、交流会が盛んで出会いや学びが満たされるところ
- 「期待するところ」 多様でジャンルにこだわらない自由でかつ安全な場の提供
- 来たら何ができる？
- 1つの目的→他の目的を見つける
- ウィズあかしできること BOOK 活用
- 講座・セミナーとかでも配布しては？
- テーマ(環境)で諸団体と“ゆるい”つながりを！
- 環境ワークショップ
- 連携先
- アンケートの希望を少しつつ実行する(例：駐車場料金割引)
- アンケート未回答について
- ニーズを探る

(チーム B)

- フリースペースが憩いの場になっている 生涯学習を全年齢に(子ども向けの事業も)
- 3つ一緒だと掘り下げられないのでは？
- 3つ一緒にやるのはスタッフ人数大丈夫？
- 複合化した良さを活かすことも重要
- 男女・市民・生涯、3つを一緒にするのは大変
- 1つひとつを掘り下げることも重要(専門性)
- 3つの各分野、それぞれの深さ、専門性重要
- 男女共同参画、わかる人少ないと思う、どっちつかずにならない？
- 縦割りの事業が複合化してエンバワメントできるようになった
- 男女・市民・生涯、3つの事業を一緒にするのは大変
- 広報・事業の発展・掘り下げに期待
- スタッフの方が皆さんまじめでおとなしいので、話しやすい(安心感がある・信頼感)
- ワクにはまらずはみ出すことで新しい事が始まるかも…？
- 部屋がきれい
- 満足度調査アンケート、宝物
- ネット予約わかりにくい
- 満足度、アンケートの結果わかりやすい
- 予約の時間 2h づつとかとりやすくしてほしい
- ゴミはきれいにそうじしてくれてる
- 挨拶してほしい
- スタッフが奥から出てきて！！
- 和室の靴べら割れている…、点検して！！
- 気づいた利用した人が言ってくれる、または言いやすいように

- 若い方が参加するまち協、大学・小学生とか
- 市民全体をまきこんでまちづくり
- 女性相談、なんでも気軽にできることが浸透してる？
- 男性相談の浸透も
- 困りごとについて、きいてほしいことについてポスト
- 「相談」だと身構えてしまうので、もっと気楽に聞いてあげられるように
- 「相談」ではなく気軽な「雑談」も件数で数えるとか
- ちょっとした悩み相談(グチとか)に乗ってくれることに期待、相談→身構えてしまう
- 単なる貸室のイメージが脱却できるものを！
- YouTube してることの知名度上げるべき
- ウィズあかし部屋借りるとこの認識
- ウィズあかしの事業・実績について PR すべき
- ウィズあかしの全体像を伝える広報を！！
- 地域支援の知名度低い
- あっちこっちに回されることがなくなって一カ所に対応できるようになった
部屋を借りるとこっていう認識を拭うことに期待

(チーム C)

- 人口・きっかけがいろいろある。自分の知らない世界と出会える。
- 会議のための場が確保できる。他団体との協力など繋がり作り
- 機会・メニューはあるけど、確実に引き合わせしてない。
- 中コミ・使い勝手悪
- 人数制限
- 敷居が高い…
- 難しい…？
- 横文字も…
- 外から見ると入りにくい？
- 今は必要ないかな？足りてる。
- 広報はちゃんと取られている？
- 活動を圧迫せずに活動できる。
→チャレンジできる
- 市民の活動を活発にウィズあかしとの活用を！
- 団体同士の交流機会は good！
- 人と人・団体と団体がつながることでパワーアップしていける
- 新しい人が次々参加していったら活発な活動が展開される
- 明石への想いが出てきてよかった！
- 明石公園、汚い…明石の素敵な場活用もっとできれば…

- モラルを上げる機会も必要？
- 若い人への学び←時間がない…
- 忙しい、必要としていない？
- お金かからない
- 自分の都合に合わせられる
- 子育て中の母親、火曜が集まりやすい？フルタイムで働いている人はウィズにつながりにくい 必要としていない＝必要とできない人もいる

(チームD)

- いろいろな立場・考えの方を受け入れる器になっている、ハブになって欲しい
- 誰とでも交流できるオープンスペースがある。どんな要望・問い合わせにも対応できる
コンシェルジュ機能
- 「一番いいところ」話しあいがよく持たれている
「期待するところ」複合型施設として今までにない評価軸をもって運営されたらいいなあ～！
- どんな人でも受け入れてもらえる(来る人をこばまない)、来る人がかたよっている(知名度が世代によって差がある??)
- 「全員にコメントもらう」→できあがったら市長の所に持っていく。こんなにセンターから元気な人が生まれている。顔 pic 入りで見た別の人が、今度私ものつけてもらえたり、センターに行ったら何かある。
「事例のつみあげ」市民講師発掘、追跡(難しい)ココきっかけで巣立って、講師として活躍(何カ所・講座・いくつやった? 数字)
- 市民講師デビュー→その後アンケート見える化→波及効果→もっと人に知ってほしい→それを見せる、皆に知ってほしい→それくらいアピールしても良い!
↑議会、市民の問い合わせに耐える?→市民評価、進んで知ってほしい!
- 「量的評価」何人来た? 参加? ex 男女チーム、相談別ステップに踏み出した→数字の1、すごく重い 「見せ方」報告、様式が決まっていて、数字だけ、稼働率に対する対策
その後、その人たちはどう変化したの? それを数値化できない? 変化、つないだを評価できないのか?
- 「運用制度」→オープンな感じで面白い
「中間支援拠点」→今までにない評価軸
しっかり存在意義、リーディングモデル、皆でシェアできるようなモノであれば…
どうすれば見える化、見せるか→今までセンターとどう関わってきたのか?
スタッフ皆で出したら 40 人集まった
- 力を次の何かに変換してほしい→見える化
フリスペで会議→びっくり→誰でも利用できる＝交流できる、つながりがうまれる

- 貸館以外のコトきかれる→利用者情報を簡単に伝えられない→1つずつの利用団体から話きいて、つなぐことのできるコンシェル、やってるけどすべてではない
- この講師がココで育った
 - 市民が感化されて「じゃあ私も」となる
 - “変換器・通訳・翻訳器”エンパワーする力、拠点、スタッフ、貸室中心のところはこのような力を持たなくても良い??
 - 中間支援団体、どういうところに、存在意義、市民力を高める
- 市内コミセン、生涯学習大改革→見てて参加して楽しい、にかたよる
 - テーマ型、課題解決
 - 根付かない
- 新しい評価基準
 - エンパワメント
 - 事例つみ上げ：見せ方の1つ、しっかりPRできると来館者のかたよりの解決
- 子どもの頃から CIVIC PRIDE、学び続ける、学校だけでない、「あそこに行けばあらゆる年代にほしいメニューがある!」→そこに居る人、それぞれの情報のある人、スタッフ
- 色んな人から情報をもらえてステキ!
 - 参加する人のエンパワメント→スタッフも常にアンテナを立て、常に意識をしておく
- 常に「最近どうですか?」補完するのがFB
 - その時々に関心した情報を提供→スタッフの訓練も大切→研修
- 新しい価値観に対する柔軟性→変化をおそれる、拒絶反応→感覚的→変化の見える化できるとおもしろい
- 育み、育まれる→スタッフも自分を変容させられる、遠いビジョンをどうおくか、それをふくめて指標
- 行政はどれだけの成果が?
- 4月から変わる→価値観が…向き不向き→ウィズで運営委員をした人がそのポジションにつける…とか?難しい→資格化、登用に結びつく
- 目標→裏返すとおしつけになる→「待ち」の施設、来るタイミング、その人自身で選ぶ
 - 1年で何件、ではない
- 利用者もスタッフも変わっていくの見える化するとおもしろい→相互作用で進化する→何が、どう変化するか見える
- 啓発の施設
 - 量的評価→?? 質的评价→貴重
 - コスパが良いかどうか、ではなく行政はどんな状況ならOK
 - 課題認識ある
 - じゃあ何でもあり?→一定の成果必要

市民への説明責任有

色んなコトやってる、数字に表れない部分、きくだけの人は実感ない

○新しい評価の基準へ

一番大切にしてる相談でやってるコトと近い、市民の変化は、説明に伝えられるか？

→ソコまできちんと整理できてない

生涯学習プラン、啓発施設、そこを使う人がどう変化した？やりがい、意義かみ合っていない、財政厳しい、行財政改革 ex、安易に近くの施設と合併、夜の稼働率を補う(@パブコメ etc)

○年2回センター情報誌

スタッフと縁が深かった人で市内で活躍してる人ピックアップして…。

○見せ方、魅せ方

(チーム E)

○立地（集いやすさ）、出会いと発信

○利便性の向上

○ウィズは活動始める場所とスタッフから

○イベント etc→目に止まらない（広報）

○きっかけは「相談」から

○イベント開催ウィズあかしとして参加

○つながりが生まれた。スタッフがつないだ

○出会いの場の提供

○ZOOM 体験→安心して他で活動できる

○やりたいことは明らかでも…→どこでどう…？→案内

○ZOOM 体験会早い導入

○西のウィズあかし

○西部市民会館を活用

○ウィズあかしを知る機会を

○こまったらここに来ればいい

○パワーを感じるところ、もっと安価な利用

○ニーズに敏感、ニーズの先取り（挑戦）

○地域ごとの広報スタイル活用してみては？

○窓口スタッフ紹介で活動スタート

○7F でウロウロ…8F チラシ多いから窓口に

○利用する立場→どんどん情報もらえる

○セミナー、ウィズをきっかけにつながり！

○広報誌で活動を知ってもらう（場所）

○初めてのオンライン→丁寧な対応ウィズなら安心！

- 相談の敷居→カウンター低く女性スタッフ→話かけやすさ
- 各個人に合わせた寄り添いの形で対応、良い意味でのフレンドリー感
- 積極になるきっかけをつくる
- トイレ清掃が（全体的にも）とても行き届いている。気持ちいい。

(チーム F)

- 新しい「ひと」の取り込みがウマイ、西部エリアへの進出
- 明石西地区遠すぎて取り残された感じ
- ウィズあかし付近だけで盛り上がってもダメかな…。
- 横に長い明石 どう全体に目を向けるか！！
- 情報の自ら取る意識の啓発必要！！
- 不幸と幸せの差→情報量の違い！！
- 自己理解が深まることで他者とのつながりが広がる。前向きな気持ちがめばえる場所になる。
- 1人1人のスタッフの思い(応援・サポートしたい、人を元気に・人をサポートしたい、大切にしたい、笑顔になってほしい)足りない部分の把握→もっと人を巻き込んでいく
- 新しい発見・出会いのあるところ☆実際にたくさんありました。実験(やってみよう・やってみましょう！！)ができるところ。チャレンジをアシストできるところ！
- 明石市のイベント 包括的なアピール重要
- まちづくりに関わる人を増やすには
- 中コミ閉鎖感ある
- 中コミ入っていいのかな？
- 中コミ制約がつよい
- まずやってみる
- 中コミを POP に！
- 広報の仕方！！考える
- 看板・のぼりで PR
- 間口を広げる工夫！！
- 中コミ welcome なフンイキを！
- ターゲットを絞る(長い目で見ながら)
- HP、POP さを PR!
- POP な看板
- 入口(HP・チラシ)を POP なイメージに！

5. まとめ

講評として、識者のお立場から2人の委員にご意見をいただきました

(委員)

川西市の指定管理事業が12年経過する中で、量的評価軸より質的评价軸は何だろうと、日々考えていました。

この様な施設は貸館業務に限らず、中間支援拠点として啓発性が強い施設でもあるため、何人来て右肩上がりになるだけでは、評価できないと思う。

だから、変容している部分を出せないかということであるが、人がここに来ることで変容していく事例を積み上げていき、見える化できればいいと思う。

そこで、個人やグループのエンパワメントの状況をどういう風に出せば、市民や行政であれば議会や評価委員会に対して説明できる資料となるのか。

大事なものは、そこにいるスタッフが常にアンテナを張りながら、自分の中にたくさんの情報を増やして引き出しを持ち、いろんな人が来た時に即座に対応できるコンシェルジュとしての動きが重要になってくる。結果として、利用者とそこで働くスタッフに相乗・相互的な作用が働き、みんなが変わっていく施設であれば、誰からも必要とさせる施設となっていく。

みなさんはそれができる方々だと思うし、明石モデルとして県内の中間支援拠点を持っている指定管理の人たちと情報共有してみたり、県内に限らず国内で新しい評価軸を提示して、中間支援拠点が疲弊することなく、ずっと存在意義を伝えることができれば。

大変なことではあるが、チャレンジし甲斐があることである。

(委員)

ウィズあかしの良いところは、意見が言いやすい、話しやすい、みんなで考えようという雰囲気ができていることが素敵であり、この雰囲気は集まっている人たち、人が作っている。ウィズあかしの人格を纏う人たちがいることが大事であると思う。

評価の視点としては難しいところであり、ウィズあかしは全方位的にできていて、レベルが高いので、正直答えがない。

とてもいい施設であるが、破天荒な部分で欠けている気がする。

ウィズあかしを評価するのに、何をしたかについての評価になりがちだが、そこに関わった人がどう変化したかの指標を沢山増やすことが大事である。

今日の話でもあったが、利用者のことに重点を置きがちだが、ここのスタッフがどう変化したかも十分指標になりうる。その変化や持続性がウィズあかしの雰囲気を支えているので、そのことについても評価することが大事である。

次に利用者の変化について、大きく分けると広がりや深まりの両方の軸で捉えるべきである。

あと、資料にある「エンパワメントと事業のポジション」の図が右に行けば行くほどエンパワメントされている状態ということに違和感を覚える。「自分を肯定する」や「他人を肯定する」状態でも良く、それが例えゴールであったとしても、どういう風に行っているかの深まりだけでも十分評価になる。次のステップに移行していなくてもダメということにはならない。

一方で、みんなが「社会に訴える」の位置にいることが良い評価というのはどうかと思う。この図は、循環にするのか、それぞれの関係図にするのか、位置ベクトルに捉えないことが大事である。この図は、個人のエンパワメントのプロセスであり、それぞれの項目に広がりや深まり方を上手く組み合わせることができれば、いい評価軸ができると思う。

評価が大事ということだが、誰に対して評価の結果を見せるためにやっているのか、指定管理者制度としての評価より、利用者や明石市に対する評価が大事である。それをどう考えるかであるが、簡単に計れるものには単純な評価でしかない。

今日の話全部聞いてわかること、時間がかかることであるがそれをトレース（追跡）することは面白い。一人一人の利用者にそれぞれいい話があり、それを丁寧に紡いでいくことがいい。Good ニュースという本があるが、世界中はBad ニュースで溢れているが、中にはちょっといいニュースが報道されていて、それらを集めた本がある。そのウィズアカシ版があれば、すごく価値があり、いい本になると思う。それを指定管理者の評価の際には使えないかもしれないが、いずれどこかの誰かの役には立つことにはつながる。

誰に対する評価かを考えつつも、丁寧にいいことを集めていく方向はひとつ面白いことだと考える。

(事務局)

今日の意見交換を楽しんでいただけて、こちらも嬉しく思います。いろいろなご意見をいただき、次回の意見交換において、具体的な評価の部分を反映した資料をお示ししたいと考えております。ありがとうございました。

以上